

# 地域におけるジェンダー平等を広める試み

渡辺典子\*

Attempts to spread gender equality in the region

Noriko Watanabe

## はじめに

2022-2023年度に東京都杉並区では、区と区民とが協働提案事業でジェンダー平等を広げる、協働提案事業としては初の試みを行っており、筆者は区民の立場からこの事業に関わっている。この試みのうち本稿では、協働提案事業の中でも大きな意義を持つ、区立男女平等推進センターの利用者を増やすことを目的とした蔵書紹介としてのブックリスト発行に関して報告する。

本稿の目的は以下の3点である。

- ① 地域でジェンダー平等を広げるための試みの記録を残し、他地域の参考にすること。  
国連のSDGsの目標5に「ジェンダー平等を実現しよう」が掲げられ、2030年までに達成することをめざしてそれぞれの地域で試行錯誤がなされている。それらの状況を多様な媒体において交流することは、ジェンダー格差の大きな日本社会でジェンダー平等を進めていくことにつながる。
- ② ジェンダー平等にかかわる書籍をまとめておくことで、自己学習の手助けとすること。  
ブックリストに取り上げた書籍は筆者が「現代女性教育論」他の授業内で参考文献として紹介しているものと重なる。それらをまとめておくことで、当該年度の受講生以外の学生たちも参考にすることができる。
- ③ 時代状況を理解する一助とすること。  
掲載書籍とその簡潔な内容案内を眺めることで、ジェンダー平等に向け、日本ではどのような課題が

ありどのように改善策が考えられているかをイメージすることができる。

以下、杉並区の特徴と、協働提案事業に取り組んでいる区民側の組織である杉並女性団体連絡会の概要と協働提案事業の全体像をふまえたのち、ブックリストの発行について具体的に述べていくこととする。

## 1. 杉並区の特徴とジェンダー平等行政

杉並区は東京23区の西端に位置し、23区中8番目の広さを持つ地域で、原水爆禁止署名運動発祥の地として有名である<sup>1)</sup>。この杉並については、かつて「杉並師範館」<sup>2)</sup>という区独自の小学校教員養成塾を持っていたことが特徴的なこととして指摘できる。2005年に設立され、2011年3月に解散した塾であるが、市区町村では全国で初めて設立されており全国から注目された。またちょうど同時期に、公立中学校で「新しい歴史を作る会教科書」<sup>3)</sup>を採択していたことも注目を集めていた。「新しい歴史を作る会教科書」とは、従来の歴史観を「自虐的」とし、子どもたちに日本人としての誇りを持たせるとの目的を持つことをうたっていたが、受験には役に立たないと評され、全国での採択率は最大で約5%程度であった教科書である。杉並では2005年に採択し、6年間使用して2011年には採択しなかった。

杉並のジェンダー平等に関する行政は、「杉並区男女共同参画都市宣言」<sup>4)</sup>にのっとって行われている。現在の担当課は「区民生活部管理課男女共同・

\* 日本女子大学・武蔵野美術大学・群馬県立女子大学他非常勤講師

犯罪被害者支援係」であり、職員は合計5人。区職員は東京メトロ丸ノ内線の南阿佐ヶ谷駅そばの区役所で勤務しているが、拠点施設となる男女平等推進センター（荻窪1丁目）は、受付管理業務委託となっており、区職員は必要に応じて男女平等推進センター（以下、センターとする）と区役所を行き来している。センターの開館時間は、創設当初は9:00-21:00であったが、現在は9:00-17:00となっている。

以下、センターの認知度や利用状況を市民意識調査からみていこう。センターが開館した直後の設問は、「平成9年9月、荻窪1丁目に『杉並区男女平等推進センター』（愛称＝ゆう杉並）がオープンしました。あなたは、男女平等推進センターを利用したことがありますか。」であり、利用経験の有無にかかわらずセンターを知っていると回答したのは約13%であった<sup>5)</sup>。一方、最新の区民意識調査<sup>6)</sup>では、センター利用の有無を中心とした選択肢となっているが、認知度に注目するとセンターを知っているのは21%である。1997年のセンター創設から25年たち、センター認知度は倍増したが、利用したことがない人は97.5%と高水準を保ったままである。このような状況に、センター創設当初から深い関わりがあり、現在まで継続的にセンターを使用するほぼ唯一の団体となっている杉並女性団体連絡会が協働提案事業に名乗りを上げてセンター活性化に取り組むこととなった。

## 2. 杉並女性団体連絡会と協働提案事業

杉並女性団体連絡会（以下、杉女連とする）は、現在、区内の女性団体の唯一の連絡会である<sup>7)</sup>。筆者はこの杉女連に2017年に再加入した「NPO法人自然と動物を考える市民会議」<sup>8)</sup>を代表して参加し、現在では運営委員の一人となっている。

杉女連の活動拠点はセンターであり、原則として毎月第2金曜日に定例会、春には総会を開き、そのほか必要に応じてセンターに集まって活動している。コロナ以降、ZOOMやメーリングリストを用いての話し合いを行ってみたが、皆で話し合いを重ねていくために対面の会議と、メールだけでなく電話も主要な手段となっていると言える。

主要な活動は、定例会やメーリングリストでの情

報交換、杉女連ニュース発行、さまざまな学習会への参加とその成果共有、区への要望書提出、区議との懇談会、杉女連OG・区職員・議員とともに新年会開催（1月）、平和を願う映画会（2～3月）等多岐にわたっている。協働提案事業開始前は、毎年、審査に応募して区との共催講座（現在は啓発講座と改称）を実施していた。長年の活動の成果が認められ、センター活性化の方法として協働提案事業があるから利用してはどうかと区側から情報をもらい名乗りを上げることとなった。

協働提案事業とは、「区と地域活動団体（NPO法人、地域団体、事業者など）が、お互いの立場を尊重し、役割を分担しながら、地域の課題解決に取り組む制度です。協働の担い手となる地域活動団体と区が話し合いや意見交換の場を持ち、課題の認識や目的・解決の方向性を共有して、提案された協働事業に取り組みます。」と区の公式ホームページで説明されている。事業実施の前年の春に受付が行われ、すぎなみ協働プラザが事前相談として事業内容を検討し、区との協働の実現の可能性のある場合、事前協議へと進み、7月に区に対して協働提案書を提出し、夏から秋にかけてNPO等活動推進協議会におけるプレゼンテーション及び区の協働推進本部における審査を経て12月ごろに事業化が内定する。年明けには具体的な実施事業の計画を策定して、4月から事業スタートという流れになっている。

杉女連で計画した提案事業は「杉並区立男女平等推進センター・情報資料コーナーの整備と有効活用～区民がジェンダー平等について自ら調べ、学び、考えるための『場』の充実～」の初年度はまず所蔵資料の分類を見直しラベル貼り替え作業などを行うとともに、後述する情報・資料コーナーの蔵書を紹介するブックリストを隔月発行しつつ、地域資料の収集・目録化にも着手した。蔵書整理後の8月以降には、週に一回の利用補助（レファレンス）とイベントに合わせた図書貸出展示に着手。同時並行で地域資料の収集にも取り掛かり、現在2年度に取り掛かっているところである。

以下、事業計画の中の一つであるブックリスト作成について、具体的に述べていくこととする。

### 3. ブックリスト発行の経緯

ブックリスト発行について、事業報告書では以下のように記されている。

ブックリスト作成：ブックリストを作成（隔月1回）し、区民施設、1F ゆう杉並始め、区内の小学校や中学校などに広く配布し、情報・資料コーナーの蔵書を紹介する。取り上げるテーマや図書については担当課と定期的に編集会議を行い検討する。

ブックリストの体裁は、A4用紙に両面印刷して中央で折り目をつけ、A5サイズ4ページとしている。各号の初めに、ジェンダー平等がSDGsの17の目標全てに関わることを強調するため、それぞれの方で取り上げる目標のロゴを載せている。

センター蔵書本を紹介し利用者を増やすことを目的とした事業であるが、協働提案事業スタート当初は、それぞれの思い描くイメージが大きく異なっており、そのイメージを言語化して共有し、どこに落としどころを見つけられるかという点に多大な時間を費やした。経験者が誰もいないところで新しいものを作り上げていく大変さと醍醐味を存分に味わえた初年度とあってよい。現段階でも試行錯誤を重ねているところはあるが、発行までのおおまかなスケジュールはほぼ固まってきたといえる。ブックリスト担当として担っている作業を以下に箇条書きに記す。

- ・年度初めに大まかに決めたテーマに沿った掲載候補本10冊程度を公表し、運営委員会で意見を募る。
- ・掲載候補本から6冊を選び、運営委員会にかける。
- ・候補本の紹介文を考え、データ化する。
- ・データ化したものを、協働提案事業事務局メンバーと最終調整する。
- ・区に最終調整終了後のデータを送付する。

この後に、区側と対面会議を行っている。会議は、発行月の前の第1週目の金曜日午前に開催しており、そのメンバーは区職員、ブックリスト担当、杉女連の協働提案事業事務局で、毎回8人程度である。この対面会議では、候補本の紹介文を検討し、掲載本やコメントを確定しているが、2時間の会議

中に決められない場合もあり、その場合は持ち帰って代案を出し、メール上での協議を行って決定している。

対面会議後にはさらに以下のような過程を経て配布に至っている。

- ・掲載本を確定後、各出版社に連絡をし、書影許可使用願を取る。
- ・最終の印刷確定データを作成して区に送付。
- ・印刷の日に合わせて、紙を購入して納品する。

実際の印刷については、区職員が区役所内の印刷機にて2000部、カラー印刷を行っている。その印刷作業が終わると、区職員から発送作業日程の連絡が届くので、ブックリスト担当を中心に数人が発送手伝いに行っている。発送作業とは、区が交換便を用いて1640部を発行するための作業である。子ども・子育てプラザ、区立小中学校などの区立施設約160カ所<sup>9)</sup>へ届けており、多様な世代に発信している。初年度は巻末に掲載した6号分を発行した（資料1～資料6参照）。各号に掲げたテーマとSDGsのロゴを記すと以下ようになる。

- 第1号 ジェンダーの手がかりがつかめる本(17の目標すべて)
- 第2号 ジェンダーの視点で社会を見る本(目標5 ジェンダー平等を実現しよう)
- 第3号 「貧困」と「人間らしい働き方」の本(目標1 貧困をなくそう、目標8 働きがいも経済成長も)
- 第4号 性暴力をなくす本(目標3 すべての人に健康と福祉を、目標5 ジェンダー平等を実現しよう、目標16 平和と公正をすべての人に)
- 第5号 ジェンダーの視点から戦争を考える本(目標5 ジェンダー平等を実現しよう、目標16 平和と公正をすべての人に)
- 第6号 男性の立場でジェンダー平等を考える本(目標3 すべての人に健康と福祉を、目標5 ジェンダー平等を実現しよう、目標10 人や国の不平等をなくそう)

ブックリストは区内の施設に配布した他、杉女連の区民対象の以下のイベントでも配布した。

- ・2022年11月開催「女性に対する暴力をなくす月間」の区役所ロビー展示
- ・2023年2月開催「平和映画会」

区内各所に配布したブックリストは、筆者の見た範囲であるが「性暴力をなくす本」を掲載した第4号のみ、早々に持ち帰られていた。ブックリストはジェンダー平等を実現する上での課題を簡潔に伝えており、センターに足を運ばない区民にも男女共同参画に関する情報を届けられる。この点において「持ち運べる男女平等推進センター」というような機能を果たしているといえよう。

## おわりに

以上、杉並区におけるジェンダー平等を広める実践の一つとして、ブックリストを発行し配布する具体的プロセスを報告した。ブックリストは、書籍の紹介を通して多くの人にジェンダー平等を実現する上での課題を簡潔に伝えることができるため、効果的な情報伝達的手段と考えられる。

現在は2年目の事業を継続しており、現段階で言える効果については、ブックリストを持って本を借りに来る人がおりセンター利用者はたしかに増えたといえる。ただそれは、ブックリスト発行と連動しての読書会の力も大きいと考えている。効果については事業終了後に検討していきたい。

## 【註】

- 1) 丸浜江里子『原水禁署名運動の誕生 東京・杉並の住民パワーと水脈』凱風社、2011年5月（新装版が2021年4月に有志舎より出版）。
- 2) 杉並師範館については、『教師養成塾 杉並師範館の歩み 教師養成5年間の軌跡』（「杉並師範館の歩み」編集委員会編、2011年3月）参照。
- 3) 教科書問題については、依義文『戦後教科書運動史』（平凡社新書、2020年12月）参照。
- 4) 「杉並区男女共同参画都市宣言」（平成9年12月1日）に対し、杉女連では毎年提出する「要望書」の中の「男女共同参画の基本的な条件の整備」として条例策定を求めてきた。それに対し、以下の回答に見られるように、

区の方では宣言を拠り所として行政施策を進めてきている。

「杉並区では、平成9年に『男女共同参画都市宣言』を行い、区の姿勢を明確にし、宣言に込められた理念のもと、男女共同参画社会の実現に向けて杉並区男女共同参画行動計画に基づき、関連する施策・事業の総合的な推進に努めております。今後も、宣言の趣旨を踏まえた杉並区男女共同参画行動計画に基づき男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでいくこととしており、現時点で、男女共同参画に関する条例を制定する考えはありません。」（令和2年12月10日付回答書、令和4年付3月31日回答書）

なお、最新の回答書（令和5年3月31日付）では、新しい区長の元で新しく条例を策定した関係で回答書の文言が以下のように変化している。

「区ではこの度、『杉並区性の多様性を尊重する地域社会を実現するための取組の推進に関する条例』を制定したところですが、ご指摘の男女共同参画基本条例については、検討すべき課題の一つとして受け止めており、今後、必要な調査・研究等を進めてまいります。」

- 5) 回答の内訳は、「利用したことがある」1%、「知っているが利用したことがない」12.2%、「施設があることを知らない」85.7%であった。（杉並区『男女共同参画に関する意識と生活実態調査報告書』平成11年1月 担当 女性・児童部 女性・青少年課）
- 6) 回答の内訳は、「利用している（利用したことがある）」2.1%、「利用したことがない（施設があることを知らない）」65.1%、「利用したことがない（知っているが必要ない）」18.9%、「利用したことがない（今後利用したい）」13.5%であった。（『男女共同参画に関する意識と生活実態調査報告書』令和3年10月編集・発行 杉並区区民生活部管理課）
- 7) 杉並女性ニュース編集委員会編『杉並女性ニュース セッション』（創刊号通巻57号、1990年7月、杉並区教育委員会社会教育部婦

人青少年発行)によると、杉女連とは「公民館」で学び、1954年の原水禁署名運動で活躍した女性たちの流れをくむ団体で、教育、環境、消費者、高齢者福祉等、それぞれのテーマで活動していた女性を中心とするグループが、横のつながりを持つために結成した連絡会、と説明されている。名称は以下のように何度か変更が重ねられて現在に至っている。1954年婦人団体協議会→1973年婦人リーダー連絡会→1974年杉並婦人連絡会→1979年杉並婦人団体連絡会→1991年杉並女性団体連絡会。

なお、協働事業開始時の加盟団体は27団体、個人会員は14人である。

- 8) 「NPO法人 自然と動物を考える市民会議」とは、1979年に発足した、動物に関する法律をより良くすることで、動物たちとのより良い共存を考え、お互いが快適に生活するためにはどうしたら良いのかをみんなで考えていく市民団体。会の代表が女性であった当時は杉女連に加入していたが、現在の第3代代表が男性となり杉女連から脱会していた。再加入については『どうぶつ会議2017』Vol.106の「あとがき」で以下のように筆者が報告した。「八鍬代表時代に加入していた、杉並女性団体連絡会(杉女連)に再加入しました。『女性団体』との名前ですが、現在は男女共同参画の時代、性別にかかわらず、くらしを良くするために地域で活動をしている団体がゆるやかにつながっています。杉女連に加盟することで、地元でのつながりを強くし、お互いに助け合える関係を感じていきたいと思います。(渡辺)」。
- 9) 配布先の区立施設は以下のところである。区役所パンフレットラック、男女平等推進センター、児童青少年センター、地域区民センター、区民集会所、区民事務所、区民会館、コミュニティふらっと、子ども・子育てプラザ、消費者センター、協働推進プラザ、保健センター、産業商工会館、ゆうゆう館、区立小学校・養護学校、区立中学校、図書館、福祉事務所、障害者交流館・障害者福祉会館。

〈資料1〉ブックリスト1号

シリーズ：歴史を動かした杉並の人びと(1)

区民が語り 区民が綴る  
**杉並の女性史 一明日への水脈―**  
杉並区女性史編さんの会 編著  
きょうせい

魚屋さんが始めた原水爆禁止署名運動。  
保育園を増やし、学童保育を作り、  
いま「当たり前のこと」を実現させた女性たち。

利用登録することで、図書を1人5冊、  
15日間借りられます。

杉並区立男女平等推進センター 情報・資料コーナー

〒167-0051  
東京都杉並区荻窪1-56-3  
03-3393-4410  
開館時間 9:00～17:00  
休館日  
月曜日（祝休日の場合は翌日）  
年末年始

【企画・編集・発行】杉並区女性団体連絡会/杉並区（男女平等推進センター）

杉並区協働提案事業  
杉並区女性団体連絡会×杉並区

**ゆう杉並でみつけた！**  
男女平等推進センターにはすてきな本がいっぱい

<第1号> 2022年5月発行

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsの課題は、私たちの足元にある

目標5「ジェンダー平等」はSDGsすべての  
ゴールに関わっています。  
今号では、「ジェンダーの手がかりがつかめる  
本」を紹介します。

▶「SDGs」とは？  
「Sustainable Development Goals」（持続可能な開発目標）の略称。世界で広がる  
貧困・格差・地球環境の危機を克服し「持続可能な社会・経済・環境」を目指す、世界共通の目標。  
（参考：内閣府男女共同参画局HP）

ほくはイエローでホワイトで、  
ちよつとブルー  
フレイアかご書 新潮社刊

イギリスの中学校に通うほく。  
貧困、人種差別、LGBTsなど  
ごちゃまぜの生活を、  
母ちゃんと一緒に乗り越えていく。

女の子だから、男の子だからなくす本  
文 エンウンジュ 絵 イ・ハジロン  
訳 すんみ  
エトセトラブックス

女らしく、男らしくって、誰が決めた？  
そんなこと、気にしなくても大丈夫。

ジェンダーとは、社会的・文化的に作られた性別のこと。  
ジェンダー平等とは、  
誰もが性別を意識することなく活躍できるようになること。

ジェンダーについて大学生が真剣に考えてみた  
—あなたがあなたらしくいられるための29問—  
佐藤文香監修  
一橋大学社会学部 佐藤文香ゼミ生一同  
明石書店

ジェンダーってよくわからない、という  
あなたにも、きつと応えてくれます。


子どもジェンダー  
シオリヌ（大貫詩織）  
ワコックス刊

パパに「オトコなんだからメモリー強くない！」  
って言われたけど、  
かなしいときに涙が出るのはみんな同じ。  
パパだって泣いていいんだよ。

52ヘルツのクジラたち  
町田そのこ  
中央公論新社

聞こえるよ あなたの声が。  
虐待やDV、家族の中の暴力で  
苦しむ人に、希望のメッセージ。

〈資料2〉ブックリスト2号



シリーズ：歴史を動かした杉並の人びと(2)


**ひみつの王国 評伝 石井桃子**  
尾崎真理子著 新潮社刊

「ピーターラビット」を訳すなど、  
楽しい子どもの本をたくさん作った人。  
寂痛にかつら文庫を開いた。

杉並区協働提案事業 杉並女性団体連絡会×杉並区


**ゆう杉並でみつけた！**

男女平等推進センターにはすてきな本がいっぱい



＜第2号＞ 2022年7月発行  
情報・資料コーナーブックリスト

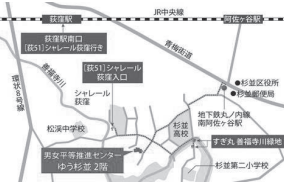
5 ジェンダー平等を  
実現しよう



「ジェンダー平等」は  
SDGsすべてのゴールに関わっています。  
今号では、  
「ジェンダーの視点で社会をみる本」  
を紹介します。

利用登録することで、図書を1人5冊、  
15日間借りられます。

杉並区立男女平等推進センター 情報・資料コーナー




〒167-0051  
東京都杉並区荻窪1-56-3  
03-3393-4410  
開館時間 9:00～17:00  
休館日 月曜日（祝休日の場合は翌日）  
年末年始

【企画・編集・発行】杉並女性団体連絡会/杉並区（男女平等推進センター）

#KuToo

**靴から考える本気のフェミニズム**  
石川優実著 現代書館

パンプスは痛い。  
でも女性は仕事でパンプスを履かなきゃ  
いけない。おかしくないですか？



**日本のフェミニズム 150年の人と思想**  
井上隆子著 有斐閣

前の世代の女性たちが  
現在の私たちに残してくれたもの。



日本のフェミニズム  
150年の人と思想  
井上隆子著

女性学を日本で初めて履いて井上隆子さんの講義！  
最新のメッセージ！第一巻（2019年夏、6巻目）



**ジェンダーと脳**  
性別を超える  
脳の多様性  
ダフナ・ジョエル  
ルバ・ヴィハンス著  
紀伊國屋書店

ジェンダーと脳—性別を超える脳の多様性—  
ダフナ・ジョエル、ルバ・ヴィハンス著、館原多恵子訳  
紀伊國屋書店

私たちの脳は、男性・女性の2つに  
分けられるのではなく、その組み合わせ、  
«モザイク»なんだって(@\_@)

**女性白書**  
日本婦人団体連合会編 ほるぷ出版

日本女性の〈今、置かれている立場〉がよくわかる。  
2021年の特集は  
「コロナ禍とジェンダー平等への課題」。



女性白書2021  
コロナ禍とジェンダー平等への課題



女性白書2020  
ジェンダー平等を促せる—風化—2020

**女性情報**  
パド・ウィメンズ・オフィス

新聞の記事から「ジェンダー情報」  
を集めた月刊誌。  
同じニュースでも、新聞が異なると  
こんなに変わるの!?



**女性情報**  
2022  
1・2月号

ジェンダー平等のいま  
SDGsの目標5「ジェンダー平等」とは、  
誰もが性別を意識することなく活躍できるようになること。  
日本のジェンダー平等はどこまで進んできたのか？

▶「SDGs」とは？…世界で広がる貧困・格差・地球環境の危機を  
2030年までに解決していくという目標のこと。

〈資料3〉ブックリスト 3号

レファレンスと読書会をはじめました


**レファレンス** 毎週土曜日 13:30～16:30  
図書利用の相談にのります。

**読書会** 第1土曜日・第3土曜日 13:30～15:30  
第1土曜日 自分の好きな本を紹介する持ち寄り会です  
第3土曜日 決まった1冊の本の感想を話す会です

9月17日は『レディみかこ』著『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』、  
10月15日は『オオノアキヲ』著『子どもジェンダー』です。  
申込は協働提案事業事務局へ。  
ishitoko@jcom.home.ne.jp または 03-3310-0451

利用登録することで、図書を1人5冊、  
15日間借りられます。

杉並区立男女平等推進センター 情報・資料コーナー



〒167-0051  
東京都杉並区萩窪1-56-3  
03-3393-4410  
開館時間 9:00～17:00  
休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）  
年末年始

【企画・編集・発行】杉並区女性団体連絡会/杉並区（男女平等推進センター）

杉並区協働提案事業 杉並区女性団体連絡会×杉並区

**ゆう杉並でみつけた！**

男女平等推進センターにはずくてきな本がいっぱい

<第3号> 2022年9月発行  
情報・資料コーナー ブックリスト

1 貧困をなくそう



8 働きがいも経済成長も



今号では、「貧困」と「人間らしい働き方」の本を紹介します。  
いずれもSDGsの目標5「ジェンダー平等」と切り離せないものです。



『わたし、定時で帰ります。』  
—ライジング—  
朱野陽子著 新潮社刊

みんなが定時で帰り、  
いまより給料も上げるにはどうすれば？  
人間らしい働き方とは？

8 働きがいも経済成長も

『フィンランド人はなぜ午後4時に仕事が終わるのか』  
堀内都喜子 ポプラ新書

効率よく11か月働く。  
仕事から離れて1か月休む。

『失われた賃金を求めて』  
イ・ミンギョン著 小山内園子・すみ訳  
タパックス

就職・昇進・評価、それぞれに、女性と男性の賃金格差を広げるしくみがもたらしている。

フィンランド人はなぜ午後4時に仕事が終わるのか

ポプラ新書

有休消化 100%  
1人あたりのGDP 日本の1.25倍  
在宅勤務 3割

堀内都喜子  
仕事も休みも大切にして  
自分らしく生きる  
2年連続！

**幸福度世界1位**

求 賃 わ 金 た

イ・ミンギョン著  
小山内園子・すみ訳

500 100

『おやこで話す 子どもの貧困』  
だれも見すでない国をつくる

阿部彩著 斉藤みおイラスト

「ひんこん」ってなに？  
なんで「ひんこん」になるの？

目をそむけなくて、むき合いたい、大切なもんだい。

おやこで話す 子どもの貧困

1 貧困をなくそう

『おやこで話す 子どもの貧困』  
だれも見すでない国をつくる

阿部彩著 斉藤みおイラスト  
日本能率協会マネジメントセンター

働いてもお金が少ししかもらえない人や、  
働かなくても働けない人がいる。  
そんな親の子はどうなるの？

『コロナ禍、貧困の記録』  
2020年、この国の底が抜けた

雨宮処凛

“コロナになってもならなくても死ぬ”  
“もう一週間、水しか飲んでません”

連日暴落続けるSOS  
15年にわたり貧困と向き合う著者が  
文庫現場から届けるコロナ禍の実直な「助け合い」の記録

8 働きがいも経済成長も

『コロナ禍、貧困の記録』  
2020年、この国の底が抜けた

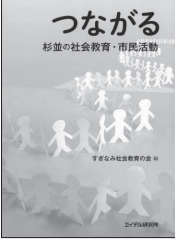
雨宮処凛 かもがわ出版

オンラインで相談、現金の緊急給付、  
携帯電話機の貸与など、  
現場から新しい支援が生まれている。



〈資料4〉ブックリスト4号

シリーズ：歴史を動かした杉並の人びと(3)



**つながる**  
杉並の社会教育・市民活動

『つながる  
杉並の社会教育・市民活動』  
すぎなみ社会教育の会編 エイテル研究所

原水爆禁止署名運動、子ども文庫、  
高校増設運動、環境問題への取り組み。  
いずれも、区民のグループが、見て、聞いて、  
知って、行動して、発展させてきました。

杉並区立男女平等推進センター 情報・資料コーナー



〒167-0051  
東京都杉並区荻窪1-56-3  
03-3393-4410  
開館時間 9:00～17:00  
休館日 月曜日（祝休日の場合は翌日）  
年末年始

【企画・編集・発行】杉並女性団体連絡会/杉並区（男女平等推進センター）

利用登録することで、回書を1人5冊、  
15日間借りられます。

杉並区協働提案事業 杉並女性団体連絡会×杉並区

**ゆう杉並でみつけた！**

男女平等推進センターにはすてきな本がいっぱい

男女平等推進センター

<第4号> 2022年11月発行  
情報・資料コーナーブックリスト

今号は、「性暴力をなくす」本を紹介します

3 すべての人に  
健康と福祉を  
実現しよう



5 ジェンダー平等を  
実現しよう



16 平和と公正を  
すべての人に



あらゆる暴力は人権侵害であり許されません。  
リプロダクティブ・ヘルス・ライツ（性や身体のことを自分で決め、守ることができる権利）が  
すべての人に必要です。

子どもを守る言葉  
**『同意』って何？**  
YES, NOは自分が決める！  
CONSISTENT CONSENT



『子どもを守る言葉 『同意』って何？』  
YES, NOは自分が決める！  
レイチェル・ブライアン 中井はるの訳 集英社

あなたが何かしようという時、  
相手が「YES」なら同意。  
同意がなければ、やめるんだ。

16 平和と公正を  
すべての人に



あらゆる暴力を大幅に減らす

『DV被害の回復にむけて  
精神科医からのメッセージ』  
野末浩之 萌文社

DVは他人事ではありません。  
あなたが悪いわけではない。  
回復への道すがりが分かります。

『わたしは黙らない  
性暴力をなくす30の視点』  
合同出版編集部編 合同出版

自ら名乗り出た被害者、緊急保護する支援団体、  
回復を支援するカウンセラー。社会をもっと  
生きやすくするメッセージが揃っています。

すべての女性・少女に対する  
暴力をなくす

5 ジェンダー平等を  
実現しよう



DV被害の回復にむけて  
～精神科医からのメッセージ～



野末浩之  
萌文社

わたしは黙らない  
性暴力をなくす30の視点



合同出版編集部編  
合同出版

少女だった私に起きた、  
電車のなかでの  
すべてに  
ついて



『少女だった私に起きた、  
電車のなかでのすべてについて』  
佐々木すみ エマニエル・アルノー  
イースト・プレス

5 ジェンダー平等を  
実現しよう



すべての女性・少女に対する  
暴力をなくす

『少女だった私に起きた、  
電車のなかでのすべてについて』  
佐々木すみ エマニエル・アルノー  
イースト・プレス

日本でちかんにあうことは珍しくない。  
すべての朝にまず読んでほしい。

『おしえて！くもくん』  
プライベートゾーンってなあに？



『おしえて！くもくん』  
プライベートゾーンってなあに？  
東山南房 制作サトウミユキ  
監修小笠原和典 企画MASUMI

水筒でかかるところと口は  
プライベートゾーン。  
友だちだって、遊びでも、  
さわっちゃいけないじゃないと。


リプロダクティブ・ヘルス・  
ライツをすべての人に

3 すべての人に  
健康と福祉を



〈資料5〉ブックリスト5号

シリーズ：歴史を動かした杉並の人びと(4)




『ル・ソワール 回想』  
佐野 ぬい 三好 企画

青を基調とした筆者の作品と回想を収録した本。筆者は、子育て中も女子美術大学教員を続け、学長も務めた。

利用登録することで、図書を1人5冊、15日間借りられます。

杉並区立男女平等推進センター 情報・資料コーナー



〒167-0051  
東京都杉並区萩原1-56-3  
03-3393-4410  
開館時間 9:00～17:00  
休館日 月曜日（祝日祭日の場合は翌日）  
年末年始

【企画・編集・発行】杉並女性団体連絡会/杉並区（男女平等推進センター）

杉並区協働提案事業 杉並女性団体連絡会×杉並区

ゆう杉並でみつけた！

男女平等推進センターにはずてきな本がいっぱい

＜第5号＞ 2023年1月発行  
情報・資料コーナー ブックリスト

今号は、「ジェンダーの視点から戦争を考える」本を紹介します

5 ジェンダー平等を  
実現しよう



16 平和と公正を  
すべての人に



SDGsの達成をさまたげる大きな理由の1つが戦争です。  
目標16は、「すべての人が受け入れられる平和な社会にしよう」  
「各国は、弱い立場の人を守られる法律や制度を作ろう」と呼びかけています。



『戦争は女の顔をしていない』  
小梅けいと KADOKAWA  
原作 スウトラーナ・アレクシエーヴィチ

ノーベル文学賞受賞作品のコミック版。  
100万人を超えるソ連女性が従軍した  
独り戦。女性たちは、洗濯部隊、  
飛行士、狙撃兵などを務めた。

すべての女性・少女に対する暴力をなくす

5 ジェンダー平等を  
実現しよう



『告白 岐阜・黒川  
満蒙開拓団73年の記録』  
川忠実 NHK ETV特集取材班  
かもがわ出版

ソ連兵に開拓団を守ってもらう見返りに、  
「性接待」を強いられた女性たち。  
70年以上過ぎて、証言を始めた。



『生きて帰ってきた男  
—ある日本兵の戦争と戦後』  
小熊英二 岩波新書

シベリア抑留から生きて帰ったが、  
家族も仕事も健康も失った。  
「戦争は嫌だ」と言い続けた男の  
「希望」とは何だったのか。



16 平和と公正を  
すべての人に



あらゆる暴力を大幅に減らす

あらゆる形の組織的な犯罪をなくす

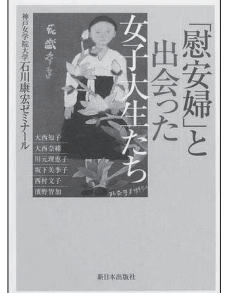
16 平和と公正を  
すべての人に





『わたしはマララ  
教育のために立ち上がり、タリバンに撃たれた少女』  
マララ・ユスフザイ×クリスティーナラム  
訳 金原瑞人+西田佳子 学研パブリッシング

16歳でノーベル平和賞を受賞した  
マララは訴えた。「すべての女子に教育を。」  
「本とペンが最も強い武器です。」



『「慰安婦」と出会った女子大生たち』  
神戸女学院大学 石川康宏ゼミナル  
新日本出版社

韓国で被害者の証言聞いた  
学生たちは、多くの人に伝えたいと思った。  
「過去のことじゃない。」  
今も苦しんでいる人がいる。」

5 ジェンダー平等を  
実現しよう



すべての女性・少女に対する暴力をなくす

〈資料6〉ブックリスト6号

**国際女性デー ミモがまつり**  
 【場所】ゆう杉並2階 男女平等推進センター  
 【日時】3月7日(火)～3月10日(金) 10:00～16:00

情報・資料コーナーには、日本最初の女性による女性のための雑誌「青鞞」の複製版（発行・不二出版）があります。この期間に展示をします。

展示「青鞞」複製版と所蔵本でふりがえる「日本の女性のあゆみ」  
 講演会「元始女性は太陽であった」（どなたでも参加できます）  
 3月8日(水) 13:30～  
 3月9日(木) 13:00～

ミモガのリースを一緒に作りましょう  
 お問い合わせ・お申込みは、[tunamachi@gmail.com](mailto:tunamachi@gmail.com) へ

杉並区協働提案事業 杉並女性団体連絡会×杉並区  
**ゆう杉並でみつけた！**  
 男女平等推進センターにはすてきな本がいっぱい

<第6号> 2023年3月発行  
 情報・資料コーナー ブックリスト

今号は、「男性の立場でジェンダー平等を考える」本を紹介します

3 すべての人に  
健康と福祉を

5 ジェンダー平等を  
実現しよう

10 人や国の不平等  
をなくそう

利用登録することで、図書を1人5冊、15日間借りられます。

**杉並区立男女平等推進センター 情報・資料コーナー**

〒167-0051  
 東京都杉並区荻窪1-56-3  
 03-3393-4410  
 開館時間 9:00～17:00  
 休館日 月曜日（祝休日の場合は翌日）  
 年末年始

【企画・編集・発行】杉並女性団体連絡会/杉並区（男女平等推進センター）

『弟の夫』 1～4巻（完結）  
 田亀源五郎 双葉社

突然現れたカナダ人は、双子の弟の「夫」だった。とまどう大人たちと、自然に親しくなっていく子どもたち。テレビドラマ化されました。

無償の育児介護や家事労働を認識・評価する

5 ジェンダー平等を  
実現しよう

『パパの家庭進出がニッポンを変えるのだ！  
 ママの社会進出と家族の幸せのために』  
 前田晃平 光文社

新米パパは2カ月の育児で気がつきます。  
 めざすべきは「すべての男性が安心して  
 家事・育児ができる社会づくり」。

前田晃平 HIROE MIYEDA

10 人や国の不平等  
をなくそう

『どうして男はそんなだろうか会議』  
 いろいろ語り合ってきた「これからの男」のこと  
 編 澁谷知美 清田隆之  
 筑摩書房

「男はこうあるべき」とらわれず  
 弱音を言ってもいいんだよ。

『どうして男はそんなだろうか会議』  
 いろいろ語り合ってきた「これからの男」のこと  
 編 澁谷知美 清田隆之  
 筑摩書房

「男はこうあるべき」とらわれず  
 弱音を言ってもいいんだよ。

『プリテンド・ファーザー』  
 白岩玄 集英社

シングルファーザー2人の同居家族。  
 子育て、介護、働き方の問題が  
 浮かびあがる。新しい「子育て小説」。

5 ジェンダー平等を  
実現しよう

白岩玄

『これからの男の子たちへ』  
 「男らしさ」から自由になるためのレッスン  
 太田啓子 大月書店

男の子にこそきちんと話そう、性のこと。  
 リプロダクティブ・ヘルス・ライツ  
 (性や身体のことを自分で決め守る権利)  
 の知識が必要です。

3 すべての人に  
健康と福祉を

『これからの男の子たちへ』  
 「男らしさ」から自由になるためのレッスン  
 太田啓子 大月書店

男の子にこそきちんと話そう、性のこと。  
 リプロダクティブ・ヘルス・ライツ  
 (性や身体のことを自分で決め守る権利)  
 の知識が必要です。

リプロダクティブ・ヘルス・ライツをすべての人に

